

## 柏原市庁舎施設整備事業の事業者候補者の選定結果について

柏原市庁舎施設整備事業 設計・施工一括発注プロポーザルについて、平成30年8月17日の公告により手続きを開始し、柏原市庁舎建設事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）における審査の結果、以下のとおり事業者候補者を選定した。

### 1 スケジュール

平成30年 7月12日 (木)	第1回柏原市庁舎建設事業者選定委員会
平成30年 8月 9日 (木)	第2回選定委員会
平成30年 8月17日 (金)	公告 (公募開始)
平成30年 8月27日 (月)	参加表明等に関する質問書の受付期限
平成30年 8月30日 (木)	参加表明等に関する質問書に対する回答の公表
平成30年 9月11日 (火)	参加表明書等の受付締切
平成30年 9月12日 (水)	提出書類の審査 (客観評価)
～18日 (火)	
平成30年 9月19日 (水)	技術提案要請者への通知
平成30年 9月27日 (木)	技術提案書等に関する質問書の受付期限
平成30年10月12日 (金)	技術提案書等に関する質問書に対する回答の公表
平成30年10月31日 (水)	技術提案書等の受付締切
平成30年11月 7日 (水)	第3回選定委員会
平成30年11月12日 (月)	第4回選定委員会 (提案評価) プレゼンテーション及びヒアリングの実施
平成30年11月14日 (水)	選定結果の発表

### 2 選定委員

氏名	所属等
松井 久尚	副市長
山口 健太郎	近畿大学教授
向井 洋一	神戸大学准教授
中丁 卓也	公認会計士
脇田 直行	総務部長
市川 信行	政策推進部長
山口 智弘	総合政策監
福井 浩	財務部長
森本 貞男	都市デザイン部長

### 3 審査経過

平成30年7月12日に第1回選定委員会を開催した。本事業の概要及び選定委員会の主旨について事務局より説明を行い、委員長の選任、選定スケジュール、設計施工者の選定方法、プロポーザル実施要項、要求水準書について確認を行った。

8月9日開催の第2回選定委員会では、第1回選定委員会での検討結果を踏まえプロポーザル実施要項、要求水準書、今後のスケジュール等の確認を行った。

財務状況、実績等の客観評価については9月12～18日の間に行った。参加表明は4者からあり、そのうち2者については後日辞退届が提出された。

11月7日開催の第3回選定委員会では、技術提案書の事前確認を行い、プレゼンテーション及びヒアリングの進め方、評価方法について事務局より説明を行った。

11月12日には技術提案書の提出のあった2者に対し、プレゼンテーション及び質疑応答を実施し、提案評価を行った。終了後に第4回選定委員会を開催し、客観評価、提案評価、価格評価を集計した結果を踏まえて協議を行い、優秀者である事業者候補者と次点となる次点候補者を選定した。

なお、選定委員会の審査において、提案者名はすべて匿名で行った。

### 4 審査結果

事業者候補者 中川・関電工・山下 共同企業体（受付記号 R）

次点候補者 大鉄工業・大建設計 共同企業体（受付記号 S）

受付記号		S	R
客観評価	財務・実績評価	103.0	74.0
提案評価	技術提案評価	426.2	460.4
	価格提案評価	250.0	246.4
評価点合計		779.2	780.8
順位		2	1

## 5 審査講評

**事業者候補者** 中川・関電工・山下 共同企業体（受付記号 R）

R社の提案は災害対策計画や防災拠点として、関連部署間での連携を考えた新庁舎と別館の一体的な施設整備が計画されていた。

また、片側廊下により広い執務室が確保され、オフィスレイアウトのゾーニング（窓口、サポート、執務、バックアップ）が提案されている。

さらに市民の休日利用等に配慮したゾーン分けが各フロアで計画され、大和川との景観や西日を受ける立地特性にも配慮した外観を提案されており、基本構想や基本計画を具現化する独自の提案が多くあったことを評価した。

なお、利便性のあるゾーニングを目指すことによって、一部の執務室や書庫倉庫の面積については要求水準との調整を要するため、基本設計、実施設計において精査し、整合を図る必要があるとした。

**次点候補者** 大鉄工業・大建設計 共同企業体（受付記号 S）

S社の提案については、防災拠点としての耐震対策やメンテナンス・遮音性に考慮した外装計画などを評価したが、基本構想や基本計画で課題とした共有部分、中廊下の窓口周りについて通路幅が現状とほぼ変わらない計画であり、また中廊下の採用により執務室レイアウトが限定的になること、災害対応にあたる部署が配置された別館との通路が1階の渡り廊下のみであったことなどから評価にマイナスの影響を与えた。

全体評価として、両者とも新庁舎に対する各計画についてよく考えられており評価できるものであった。客観評価では財務状況、実績値等により評価点に差が付いたが、その差を上回る技術提案を行ったR社が選定される結果となった。

なお、両者とも工事期間中の駐車場対策については、限られたスペースで苦慮された提案となっていたが、事業者候補者には、来庁者の車両動線の安全確保と来庁者用の駐車台数をできるだけ確保できるよう、柏原市と協議を行い、十分な対応に努めていただくことを付記しておく。

最後に、本プロポーザルに応募いただいた各参加者におかれましては、貴重な時間を費やし熱意を持って真摯に取り組んで頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

平成30年11月14日  
柏原市庁舎建設事業者選定委員会